

皆さん、長時間ありがとうございました。

最後、スタジアムの件についてお話する前に、皆さんからこういったご意見をいただくことで、我々クラブ・フロントスタッフをはじめ、色々なものを少しずつではありますが、成長できるような環境ができていると思います。クラブ発足当初は、にかほ市中心で試合をしていて、セキュリティの部分・サービスの部分等で皆さんにはご迷惑をおかけしてきました。現在はソユースタジアムでの開催になり、まだまだ課題は多いもの、今日いただいたご意見も新しいスタジアムができれば解決する案件もけっこうございます。まだまだ新スタジアムについてはこれからといった部分もございますので、現状を皆様にお伝えさせていただいて、より皆さんと一緒にスタジアムを整備し、スタジアムができたことがゴールではなく、皆さんにも楽しんでいただいて秋田のシンボルとなることを目指して、スタジアム整備を行っていきたいと考えております。

皆さん新聞等の記事やニュースでご覧になっていただいていると思いますが、ようやく整備場所が八橋の人工芝・健康広場に決定致しました。今年、協議会を秋田県秋田市と計5回実施しました。その間、Jリーグにもお越しいただき様々なご意見等をいただき、県と市と担当者も含めてしっかりと協議をさせていただいております。しかしながら、皆さんにとっては常に疑問に思われているところもあるかと思いますが、なかなか我々主導だけでも難しい話もありまして、県と市の考え方、財源の問題ですけど全ては我々クラブとしましては場所が決まらなければ何も始まらないというところで、場所も二転三転しましたがようやく11月28日に秋田市議会で穂積市長がお話をしていただきました。この経緯に関しましても、副知事・副市長にもご確認をいただいて了承を得て、発言をいただいたという形になります。また、新スタジアム建設に伴うSPフィールドと健康広場の代替え地についても、勝平に新しい人工芝のグラウンドを整備するということになりました。行政のプロセスとしては非常に重要なところですし、利用者の方の利益にもなりますし、そういった方々にも対応でき、しっかりと前に進める段階がようやくスタートできたのかなど、思っております。

その間、行政間でやってきた流れとしましては国交省のオープンサウンディングというものを実施してまいりました。ホームページで検索していただくとお出てきますけれど、八橋の運動公園内にどういうふうな施設がいいのか、どういった手法がいいのかというものを、国交省のほうから出していただき、建設会社や設計会社の質問に秋田市も含めて共有していくような作業をしてまいりました。そういったものも含めて、先日、穂積市長のほうから、2月中を目途にたたき台を秋田市として示していただくというお話をいただいております。これも非常に有難いお話だと思っております。どこのスタジアム整備においても、どちらがやるのか、誰が主体でやるのかという議論を混沌としていた状況から、秋田においては一定程度秋田市は指針といいますか、たたき台を出すということをベースにスタジアム議論が加速するのではないかと思っております。

我々クラブとしてはいろいろな地域のスタジアムを参考にしながら、秋田なりのスタジアムをどう作っていくのか、その点については皆さんから今後ともご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますが、今まで我々がスタジアム整備において重要視していたのが

365日使用したいなど。せっかくスタジアム作るのであればサッカーだけじゃない、いろいろな競技ができるような環境を作りたいと思っております。外旭川が候補地の時に岩瀬から何度かお話をさせていただいたことがありますが、例えば冬場はコンコースを活用した運動促進であったり、これはメディアの方が悪いのですが、「ブラウブリッツ秋田専用スタジアム」とよく言われますがそうではありません。「ブラウブリッツ秋田のホームスタジアム」です。そういったところからブラウブリッツ秋田だけが使うというイメージが県民市民の方々にあるので、じゃあ税金を入れていいのかという話になってしまうので、今日メディアの方がいらっしゃいますのでしつこく言っていくつもりですが、やはり色々な方々に使っていただきたいです。

365日のうち我々が使用するのは天皇杯等も含めても年間35日くらいです。芝の状況もありますが、なんとか100日くらいは使用したといった目標の中で、70日くらいは何に使用するかといいますと、子供たちや中総体・ラグビーなど色々な用途で使用していただけるような施策を我々もお伝えはしていきます。そういった中で、我々だけではない一般の方々にも使用していただくことの公共性をしっかりと伝えていくことで、必要な財源等の考え方にもつながっていくのではないかと考えております。

詳しい話をさせていただきますと、潟上の練習場の芝は非常に強度が高くトップチームが毎日練習をしても状態が悪くならず、非常にいい芝だということで、この芝を新スタジアムに活用することで、年間の使用回数を増やすことにつなげていくことにもなるのではないかと考えております。現在、スタートラインに立った状況ではありますが、来年4月にいろいろある（選挙）とは思いますが、考えが変わらないように我々はしっかりと道筋を一步一步前へ進めていきたいと考えております。

もう一つ、今お話しさせていただいた内容に追記しまして、皆さんが試合観戦をされる時に、できるだけ寒さを凌げるようなスタジアムを目指したいと思っております。コンコースをランニングコースにできるような設計にすると冬場でもスタジアムが利用できる、できるだけ風が入り込まないようにするとか、費用がかかるかもしれませんがシートヒーターを導入する、あとはヨーロッパで導入されている屋根の下にスチームを出して暖房の壁を作るなど、色々な施策がございますのでクラブとしても様々な可能性を探りながら、県や市へも要望等を出しながら皆さんに満足していただけるようなスタジアムを目指して参りたいと思います。

現在、秋田県の人口が約90万人の中で、今シーズンの我々の平均観客動員数が約4,100人。これではスタジアムの話をごり押しするのは中々難しいという話を、とある議員の先生から言われたことがございます。これは非常に難しい話ですが、試合会場に来ることができる方、できない方、数字として残っているのは4,100人、これは我々だけではなく皆さんの想いと行動で少しずつ集客が増えていっている中で、よりいっそう集客というものがスタジアム建設の議論を加速させるために非常に重要なところになるのかと思っておりますので、ここにお集まりの皆様は本当に想いをもってクラブに関わっていただいて本日もご参加いただいていると思っておりますので、一人でも多くの方々にスタジアムに足を運んでいただ

けるようなアクションを我々とともに一緒になって動いていただけますと有難いなと思っております。

また、これに関しては皆様、我々クラブも本当の意味でしっかりとスタジアムの件について前に進めていくために、皆様からのご要望等ございましたら、ホームページからでも構いませんし、試合会場でもいいので我々スタッフにお声がけいただければそれを集約し県や市に対して発信して参りますが、県と市の熱量をあげるためにも皆さんも県民市民の想いを行政の方にも伝えていただくことも大変重要かと思っております。直接電話をするなり、我々が間に入って伝えるとか色々やり方はあるかと思いますが、やはり皆様の声をしっかりお伝えすることが非常に重要かと思っておりますので、それを持って我々もクラブとして責任をもってスタジアム整備を前進させて、1年でも早く完成させられるように努力していきたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

ありがとうございます。